



田村市 報道資料

HP



LINE



Facebook



2026年6月11日

田村市被災地復興特別企画展を7月4日・5日に開催

避難指示区域(旧警戒区域)を学区に持つ学校として、
最初に再開した小学校の教育実践を紹介

7月4日(土)・5日(日)の2日間、東日本大震災・原子力災害伝承館において、「田村市 被災地復興特別企画展」を開催します。

本企画展は、当時の古道小学校(現都路小学校)の実践をもとに、震災・原子力災害に向き合いながら地域とともに歩んだ教育の姿を紹介するものです。

中心となる書籍『未来をつくる小学生』をもとに、当時の子どもたちや関係者による証言、著者による語り部、書籍・資料の展示などを通じて、「帰還した小学校がめざした教育とは」というテーマを発信します。

*開催概要

日時…令和8年7月4日(土)・5日(日)

会場…東日本大震災・原子力災害伝承館 (入場無料)

(両日とも伝承館 セタまつりと併催)

主催…田村市/田村市教育委員会

共催…公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

*主な内容

①トークセッション……7月4日(土)13:30～15:00

テーマ「帰還した小学校がめざした教育 -学校には地域がある-」

②特別語り部……7月4日(土)・5日(日) 各日 2回開催

テーマ「震災を乗り越えて -未来をつくる小学生-」

③展示/販売……7月4日(土)・5日(日)9:00～17:00

写真、報道記事、活動記録、書籍等の展示・販売

問い合わせ先

田村市教育委員会教育部 生涯学習課 柳沼(ヤギヌマ)

TEL0247-81-1215 FAX0247-81-1228 メール shogai@city.tamura.lg.jp

田村市 被災地復興企画展

- 帰還した小学校がめざした教育とは -

とき **7月4日(土)・5日(日)**

入場
無料

ところ **東日本大震災・原子力災害伝承館**

(双葉町大字中野字高田39 Tel0240-23-4402)



避難指示区域（旧警戒区域）を学区に持つ学校としては、一番最初に再開した古道小学校の実情を綴った、震災・原子力災害に向き合った初めての教育実践記録である「未来をつくる小学生」。（2025年度福島民報出版文化賞正賞）

著者や当時子どもたちなどによるトークセッション、語り部や書籍に関する展示などに加え、書籍をもとにした映像化の可能性にも光を当てながら、田村市都路町のリアルにふれる2日間です。



「未来をつくる小学生」

著者：根内 喜代重（こんない きよしげ）

田村市教育委員。1959年福島県生まれ。1983年福島県公立学校教員。東日本大震災発生時、田村市教育委員会主任指導主事として学校教育の正常化にあたる。2014～15年田村市立古道小学校長を務め、約3年間の避難生活からの帰還後、地域の教育力を活かした特色ある教育を推進している。3.11伝承ロード「ふくしま伝えびと」。

展示ならびに企画内容は予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

7/4
土

13:30-15:00
(研修室)
定員60人

トークセッション

帰還した小学校がめざした教育
- 学校には地域がある -



著者をファシリテーターに、当時の子どもたちや関係者などが体験談を交えて自由に意見交換を行います。* 田村市長出席予定

特別語り部

震災を乗り越えて
- 未来をつくる小学生 -

7/4・5

①10:00- ②11:15-
(研修室) 定員60人



語り部...根内喜代重・当時の関係者

展示会

震災は、都路の学校と地域に
何を問いかけたのか

7/4・5

9:00-17:00
(エントランス)

※書籍、キュウリジャムを販売します

